



作成日 ##### 作成者 欄日建設計 確認日 2006/12/※ 確認者 2006年12月※日

(1) 建物概要

建物名称	華頂短期大学(仮称)葵の広場計	敷地面積	9,893 m ²
建物用途	学校	建築面積	4,548 m ²
建設地	京都府京都市	延床面積	10,272 m ²
気候区分	地域区分Ⅲ	階数	地上4F、地下1階
地域・地区	第二種住居地域、第五種風致地区	構造	SRC、RC、S造
竣工年	2009年4月 予定	平均居住人員	800 人
		年間使用時間	1,920 時間/年



(2)-1 環境性能評価結果 (バーチャート)

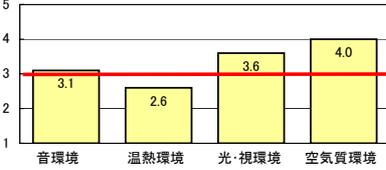
注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

SQ = 3.4

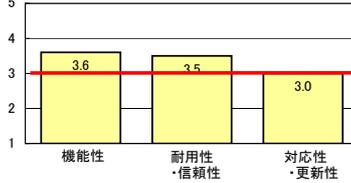
Q-1 室内環境

スコア(評価点): SQ1 = 3.2



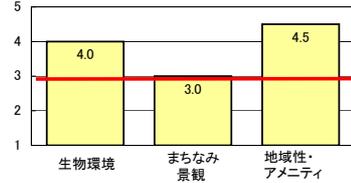
Q-2 サービス性能

スコア(評価点): SQ2 = 3.4



Q-3 室外環境(敷地内)

スコア(評価点): SQ3 = 3.7

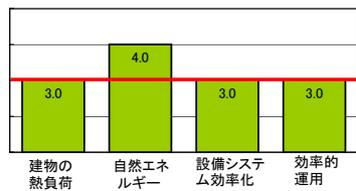


LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR = 3.2

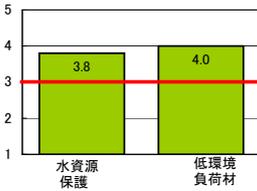
LR-1 エネルギー

スコア(評価点): SLR1 = 3.2



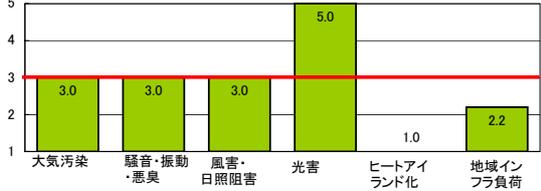
LR-2 資源・マテリアル

スコア(評価点): SLR2 = 4.0



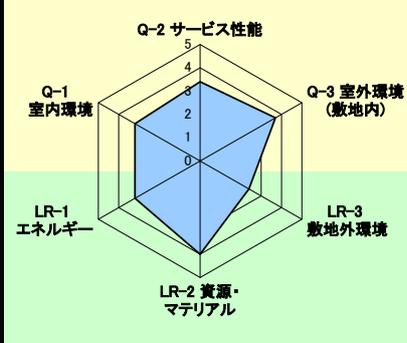
LR-3 敷地外環境

スコア(評価点): SLR3 = 2.4



(2)-2 環境性能評価結果(レーダーチャート)

注1



(2)-3 環境性能効率

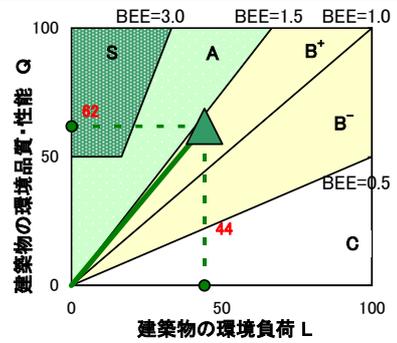
BEE

注2

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{61.8}{44.2} = 1.3$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0	10	20	30	40	50 %
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²							
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²							
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²							
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²							
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²							
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²							

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画